

## 四十五 竹田宮恒徳殿下

関東管区警察学校でクラブ活動の中に速記があり、年間十数回指導に行っています。ある時同じクラブ活動の中で丹田呼吸法を指導しておられる清水洋三先生にお会いしたところ、「日本長老会」で話をするように薦められました。「日本長老会」というのは、明治生まれの功成り、名遂げた長老の人達二百数十名が集まって、昭和四十九年につくられた会です。次代を背負う人々を指導鞭撻して、日本の精神と文化を伝えるようにしなければいけないという趣旨でできたものです。そこで話をするようにと薦められました。昭和六十三年十月七日、中根式速記という題で話をさせていただきました。また長老会に入会するようにと薦められましたが、社会的地位の高い人達ばかりであるので、私は一応辞退したのでした。しかし私が入会すれば最高齢者となるからと非常に薦められ入会させていただいたのです。毎週金曜日に例会があつて、時々出席していたところ、また話をするようにといわれ、平成元年九月八日、今度は「スピードメモ法と老化防止」という題で話することにし、また速記学校から生徒二人来てもらつて、実演もお目にかけるようにして、その日の来るのを待つていたのです。

いよいよその日が来たので会場に行つてみてびっくりしたのでした。それは元竹田宮恒徳殿下がお見えになつておられ、それに文部大臣をなさつた中根式速記協会の顧問をしていただいている剣木亨弘先生も